

きょううたなべ のうぎょう委員会だより

3

No.78

平成30年3月15日発行

広報アイデア委員会



月号 2018

最新設備のハウスを新設

昨年9月、飯岡地区に最新設備のトマトハウスが新設された。杉田さんは、父親から受け継いだトマト栽培の知識と経験を活かし、営農拡大へ踏み切った。

視察先で最新のトマトづくりを知った杉田さん。経済的負担を覚悟で、約6,000株(90トン)を栽培できるオートメーションハウスを建てた。「今後も営農拡大を目指します。市内の直売所などへ卸していますので、買って下さい」と語った。

大きくみずみずしい「杉田トマト」。皆さんも、手に取ってみてはいかがですか。



杉田 充さん (35)

26歳で農業経営の世界に足を踏み入れた、若手の専業農家。市内でも希少なトマトをハウス栽培。



杉田農園
ホームページ



杉田農園の詳細は、
中面のQ&Aをご覧下さい

京田辺市産業祭

レモンと米粉をPR!



澤田 康夫 委員



実験ほ場でとれたレモンもブースに並びました。

前日の早朝から、林会長を筆頭に委員全員が山本区の農業構造改善センターに集まり、お餅の準備やレモ

ンプロジェクトで収穫したレモンを絞り、加工品を仕上げました。



業委員・農地利用最適化推進委員の計25名で参加しました。当日は、おかげさまで、11時頃までには完売。そのほか用意した米粉パンなどの加工品も午前中で売り切れました。また、餅つきの実演では、子どもさん・学生さん・高齢者の方から「もちつきやつてみたい」「なつかしい」といったうれしい言ももらいました。

これからも、農業委員会の委員一同、市の産業・農業へ貢献できるよう協力していきたいと思います。ぜひ来年の産業祭も農業委員会ブースに足を運んで下さい。皆さんのが力強い一言が私たちの原動力になります。

レモンプロジェクトで収穫したレモンを絞り、加工品を仕上げました。



澤田 康夫 委員

農業委員会活動報告

01

視察研修

果実王国和歌山で6次産業化を学ぶ



喜多 義治
会長職務代理者

レモンプロジェクトの6次産業化（栽培から加工までを一貫して行う）を見据え、その分野の先進地である和歌山県へ視察研修に伺いました。

秋津野ガルテン

新岡農園



特産品の売り方をチェック

地域社会の活性化を実践されていました。

また、かんきつ類の果汁を搾る施設もあり、果実の6次産業化を強く意識する場所になります。

地で栽培されていました。こちらも、果実の加工まで自社で行う6次産業。耕作放棄地への植栽や、まちの特産品づくりへの貢献で農林水産省から表彰される会社で、規模も大きく見渡す限り果樹が広がっていました。





リストアップされた対象農地を確認。地元委員も説明に参加して、指導の有無を判断します。

農地パトロール
実施中 農業委員会

農業委員・農地利用最適化推進委員の軽トラックは、パトロールのステッカーをつけて巡回し、農地の荒廃を未然に防ぎます。

農業委員会には、内部で「農地・農政委員会」と「広報アイデア委員会」という役割を設けています。農地パトロールは、農地・農政委員会のメンバーが、毎年1回行う市内全域が対象の農地利用状況調査で、特に確認が必要な農地をチェックするものです。指導の必要があると判断された所有者などには、地域

**農地利用状況調査で
荒れた農地の総点検**

の農業委員・農地利用最適化推進委員から指導したり、指導文書を通知したりして、農地の管理を促します。

農地の適正管理は、所有者(耕作者)の義務です。何もないまま雑草が伸び、病虫害の発生で周辺に迷惑をかけることになりますので、未然に防げるようには、未然に防げるようになります。が地域の農地を守ります。みなさまからの情報提供へ声かけに努めています。

農地パトロール

地元の農地を守るために 農地・農政委員会で現地の状況を確認



藤田 喜一 委員

農地の貸し借り状況報告

京田辺市にある賃貸借権のお知らせをします。

95%は無償の契約です。



昨年は、989筆ありました。全体の内、約95%が使用貸借(無償)の契約です。

※農地法第52条の規定に基づいた、農地法および農業経営基盤強化法による貸借の情報提供

なお、賃借料は農業委員会などが定めるものではなく、貸し手と借り手の話し合いで決めます。

農地の貸し借りのご相談は、農業委員・農地利用最適化推進委員または事務局まで問い合わせてください。



未来の特産品を考える 意見交換会

平成29年12月18日



市で毎年行っている意見交換会。今回は、「果樹生産と6次産業」をテーマに、市内の旧村5地域が、それぞれの環境に合う果樹や栽培方法を議論しました。

本市は、都市近郊農業あり、中山間地農業ありと、各地区で営農方法が大きく異なります。そのため「何を植えたらいいのか」という一題だけでも、レモン、柿、オリーブ、ゆず、いちじくなど様々な案が出ました。また、売り方に付加価値をつけるなどのアイデア提案も盛り上りました。

「とにかくやろう、進めよ



市内全域の農家が集まり、これからの地域農業の在り方を議論しました。

う」ということで、レモンプロジェクトでは早速ハートの型枠を用意し、レモンの実にはめこみました。今後も、各地区で定期的にこういった場で前向きな意見交換ができる体制を作りたいと思います。



松本 好次 委員



多々羅地区



多々羅地区
農地利用最適化推進委員会
大谷 雅洋 委員



同志社大学と共にある緑豊かな集落

多々羅地区は、京田辺市南部にある「普賢寺地域」を構成する6つの旧村（多々羅・普賢寺・水取・天王・打田・高船）のひとつで、同志社大学京田辺校地と、大学の南側で住宅開発が進む「同志社山手地区」に挟まれた位置にあります。

地区内のシンボルである同志社大学の多々羅キャンパス（旧ウェルサンピア京都）では、国際交流事業でのスポーツ部員がランニングする姿をよく見かけます。この地区は自然災害の影響を受けにくい恵まれた土地柄ですが、在所は兼業農家がほとんどで、地域農業の高齢化・担い手問題が懸念されていました。しかし、



多々羅キャンパスのスポーツ施設は、テニスやゴルフの練習場があります。

昨年3月の「うぎょう委員会」よりで紹介した、「いじだ」を主力とする若手の新規就農者が多々羅地区に来てくれました。専業農家として精力的に営農する姿には勇気づけられます。

どんどんまちづくりが進む京田辺市ですが、これから先の時代でも柔軟に対応できる新しい地域農業のあり方を考えていきたいと思います。



『きょうたなべのうぎょう委員会だより』

農業委員会広報コンクール

全国大会 最優秀賞受賞!

京都府大会 2年連続金賞受賞!



広報アイデア委員会では、よりよい広報を提供するため、コンクールの受賞目標にがんばってきました。

今年度、念願の全国・府ダブル1位受賞を達成しました。全国は初の、京都府

では2年連続の受賞です。これもひとえに、取材を受けて下さる方々やアンケートを下さる皆様のご協力があってこそと感じます。これからもわかりやすく見やすい紙面作りを心掛けます。

アレゼントクイズ

今号のクイズ

今年広報アイデア委員会が受賞した賞は?

広報コンクール

全国最優秀賞受賞・
京都府○賞受賞

春の味覚をお届け

京田辺の竹林でとれた たけのこ3kg

クイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・のうぎょう委員会だよりへのご意見・ご感想を書いて、メール・郵送・持参で応募してください。クイズの正解は、次号で発表します。

応募期限=平成30年4月15日(日)まで(当日消印有効)
当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせて頂きます。

郵送先=農業委員会事務局(〒610-0393(住所不要))

✉: nougyo@city.kyotanabe.lg.jp

件名は「農業委員会クイズ」と記入。



前回の
正解は

隼人米(はやとまい)



メールアドレスが
読み取れます。↑



Q&A

No.3

皆さん気がなっている

本紙プレゼントクイズでよせられた感想の中で、質問のあった内容にお答えします。

Q1

QRコードがあれば、くわしい情報やプレゼントクイズの応募がしやすくなるのでは?



A1

今回からQRコードを採用しました。

QRコードは、スマートフォンなどの読み取りアプリを起動し、カメラをかざすだけでホームページが表示され、より多くの情報が得られます。

ぜひ活用して下さい。



Q2

うぎょう委員会だよりで紹介された農作物を食べてみたいです。どこで売っていますか?



A2

今号で紹介した
「杉田農園」



三山木地区の「にこにこ市」、普賢寺地区の「普賢寺ふれあいの駅」で販売中。杉田農園のラベルが目印です。



No.75号で紹介した
いちご園「キース」



三山木地区の「にこにこ市」、普賢寺地区の「普賢寺ふれあいの駅」で販売中。かわいいリスのマスコットキャラクターが目印です。



No.77号で紹介した

京田辺ブランド一休品認定
「京都大住産 隼人米 (はやとまい)」



岡村アグリ俱楽部

090-2199-1303(担当:芝)へ注文
数量・エリア等により配達可能
2kg:1,000円 5kg:2,500円

駅ナカ案内所でも販売
(近鉄新田辺駅内)



隼人米は、地域の特性を活かしたおいしい米作りを目標に、カルシウムを豊富に与えて健康な作物を育てる「カルテック栽培」導入した画期的なヒノヒカリです。京田辺ブランド「一休品」にも選ばれ、ブランド米として評判となりつつあります。



■毎週金曜日発行 ■B3版8
■ページ ■月額700円(送料、
消費税込) ■購読のお申し込み
は、農業委員会事務局へ ■発行
所:全国農業会議所

全国農業新聞は、農業の最新情報をお届け。農業全般の情報や地域の明るい話題などを紹介し、ご家族や非農家も楽しめます。

家族・非農家も
楽しめる新聞。



全國農業新聞

豊かな老後生活のために
加入しませんか 農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

- 農業者なら広く加入できる
- 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
- 保険料の国庫補助
- 保険料は2万円から自由に選択可能
- 税制面で大きな優遇
- 80歳までの保証がついた終身年金

くわしくは農業委員会事務局まで





レモンプロジェクト 活動報告

苗木の剪定を学びました

農業委員会では、耕作放棄地の解消・未来の特産物の創出のため、レモンを育てるレモンプロジェクトを行っています。

3月8日、大きく生長した苗木の正しい剪定を行うため、京都府山城北農業改良普及センターから講師を招いて実地研修を行いました。



ハート型の試作品を3Dプリンタで制作



広がるようにする。また、木の中心にある葉にも光が当たるように切る枝を選ぶ」と教わり、伸びすぎた木の枝を選び、約50本を剪定しました。

現在、6次産業化(栽培から加工・販売までを一貫して行うこと)の試みのひとつとして3ページ目で紹介している意見交換会で出たアイデア、「ハート型のレモン」ができるかどうか、型をぶせて実験しています。皆さんも、よいアイデアがあれば地域農業委員・農地ご利用最適化推進委員までご提案下さい。



第10回 使おう! 食べよう! 米粉レシピ

甘くてさわやか! レモンまんじゅう

材料 (12個分)

レモンのはちみつ漬け

レモン 1個
はちみつ 大さじ2

あん

白あん 450g
レモンのはちみつ漬け 40g

まんじゅうの皮

えびいも 45g
水 5cc
砂糖 130g
米粉(上用粉) 35g
薄力粉 35g
レモンの皮 9g



地元でとれたレモンと特産品のえびいもを使った贅沢な一品です。普賢寺地区のふれあいの駅でも、販売していますよ。 (山下明子委員)

作り方

を作る

- ①2日前にレモンを輪切りにしてはちみつに漬ける。
- ②漬けたレモンをみじん切りにして少し煮詰めて冷やす。

を作る

- ③えびいもの皮をむき、すり下ろす。
- ④③と同じ分量の水を加えて混ぜる。
- ⑤砂糖を5回に分けて③と混ぜる。

⑥米粉と薄力粉を④へふるい入れ、へらで芋を中心

に寄せる。粉の上に芋が浮いてきたらすり鉢を

する。手で芋を搾りながら粉を絡ませていく。

⑦みじん切りにした②を白あんに混ぜ、12等分にする。

⑧あんを皮で包み、蒸し器で13分間蒸す。

⑨えびいもは、大和芋でもOK!
⑩の水は、芋だけでも
柔らかければ入れなくてもOK!

